企業・団体名（長野県製薬株式会社）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	社内コンプライアンス規程を策定し、相談窓口の設置 コンプライアンス教育研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	社内ハラスメント規程を策定し、相談窓口の設置 ハラスメント教育研修の実施					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	36協定締結時に総労働時間の確認を全従業員により行う。毎月の個別労働時間の確認をおこない、改善を実施していく								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在対象者は在籍していないが、採用時には差別しない				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生推進者を設置し、社内パトロールを実施 安全衛生に関する社外情報を収集し社内へ周知			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	従業員に意識向上を目的にコンプライアンス教育研修及びハラスメント教育研修を実施 ストレスチェック診断実施していく			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	幅広い年齢層の人材活用を推進する 同一労働同一賃金の実施(同一職位)					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	自己啓発プログラムの実施(社外研修制度) e-ラーニングの活用 社内教育訓練の実施				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等を遵守している。同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	社員の健康診断を実施し、健康管理に気を配っている。一般健康診断の項目拡を充した。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物処理法に基づき、廃棄物の分別、種類、量など現状を把握している。マニュフェストの管理を行っている。【予定】削減のための施策を実施											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	自社ののエネルギー使用量及び温室効果ガスの排出量を把握している							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	太陽光発電等の自然エネルギーの活用及び省力化(室内照明のLED化)に取り組んでいる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し、適正管理している。代替え機器への切り替えを行って削減している			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・自社で使用する天然原料について、栽培への取組み、支援をする事で循環型の資源活用を目指す ・従業員が地域の清掃活動に参加している。						6.6									15		

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	紙製パレットの一部使用(再生紙)･廃棄物の適正な分別、削減、ペットボトル等のリサイクル 【予定】使用済み原材料の肥料等への転用												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水道水使用量を把握し節水を呼び掛けている						6.4 6.6											
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】費用対効果を検討し取得の有無を検討する			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	長野県SDGs推進企業参加制度に参加し取り組んでいく												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電設備導入済み 工場･管理棟の照明をLEDに交換							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	･自社で使用する天然原料について、栽培への取組み、支援をしている ･紙製パレットの一部使用(再生紙)												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	「長野県製薬行動憲章」を定め、高い倫理観を持って行動することを明示している。また全社員への定期的なコンプライアンス教育の実施している																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	「長野県製薬行動憲章」を定め、公正で自由な競争を明示している。また全社員への定期的なコンプライアンス教育の実施している																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･特許、商標等の知的財産権を取得し、管理している業務の中で、知的財産の保護について社員に周知･教育している								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･「長野県製薬行動憲章」を定め、個人情報や顧客情報の適正な保護に十分配慮している ･個人情報へのアクセスはパスワード等で管理している ･マイナンバーの適切な管理を行っている																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	現在取り扱っていない、今後も取り扱わない																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先との情報交換を通じて人権侵害への防止、環境への配慮、倫理面での適切な対応に取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サ	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･GVP省令を遵守し、安全管理を実施している ･クレームには原因分析と対策を実施している			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･GQP･GMP省令を遵守し品質保証している ･日常からの改善活動を実施する ･「お客様相談室」を設置しお客様の声を集め、社内共有を図り、品質向上に努めている									9								

30	ービス	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	添加物をできるだけ使わない製造･開発に取り組んでいる 天然成分を活用した製品開発に取り組んでいる 紙製パレットの一部使用(再生紙)、コピーの再生紙の					6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	人々の健康増進に繋がる製品の開発と販売に努めている 長野県SDGs推進企業参加制度に参加し取り組んでいく	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	･雇用や環境など、地域に与える影響を考慮し、事業に取り組んでいる ･地域の商工会等に所属し、情報交換を行うとともに、地域の課題解決に取り組んでいます				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	登山道整備、近隣道路の草刈り、花の定植を行っている 従業員の消防団活動、地域活動に配慮している				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地元産の原材料使用に配慮している 地域の人材を雇用している								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	･経営理念を策定し、定期的に全社員による唱和、共有を図っている ･具体的な経営目標を定めている								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	･組織的な法令遵守体制を構築し、定期的に役職員に対して教育訓練を実施している																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社長が全社を統括し、事業部門毎に責任者を決めている お客様相談室の設置																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	･適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響把握に努めている																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	品質リスクマネジメント手順書を策定し、適正な運用をしている 労働安全衛生法に基づく安全パトロールを実施																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	･健康関連企業として法令遵守体制を構築し、内部周知を徹底した上で企業活動を行っている ･長野県SDGs推進企業制度を活用しSDGs達成のための重点的取り組みを行っていく																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	防災訓練の実施、社員の緊急連絡網を整備している 【予定】BCPの作成を検討する									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】必要な場合は株主総会で検討する								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）